

＜日商簿記1級工業簿記ミニテスト13＞部門費

＜問題＞

当工場には、2つの製造部門（切削部門と組立造部門）と1つの補助部門（修繕部門）がある。次の資料にもとづいて、各勘定に記入し、各部門の差異分析を行いなさい。

[資料]

(1)部門費に関するデータ

各部門の予算額と実際発生額は次の通りである。

	合計	切削部門	組立部門	修繕部門
部門費予算額				
変動費	70,600	27,200	39,400	4,000
固定費	110,900	38,800	56,100	16,000
合計	181,500	66,000	95,500	20,000
部門費実際発生額				
変動費	68,900	25,280	39,040	4,580
固定費	108,100	37,300	57,280	14,700
合計	177,000	62,580	96,320	19,280

(2)用役提供割合に関するデータ

部門費の配賦には次のデータを用いること。なお、製造部門費は各製造指図書に予定配賦しており、切削部門は機械運転時間を、組立部門は直接作業時間を配賦基準とし、修繕部門の配賦は複数基準配賦法によっており、予定修繕時間は当工場の修繕能力に等しい。

	合計	切削部門	組立部門	修繕部門
予定機械運転時間	500 時間	500 時間	-	-
予定直接作業時間	580 時間	-	580 時間	-
予定修繕時間	250 時間	175 時間	75 時間	-
実際機械運転時間	480 時間	480 時間	-	-
実際直接作業時間	570 時間	-	570 時間	-
実際修繕時間	255 時間	170 時間	85 時間	-

<解答>

切削部門		(単位：円)	
実際部門費	(62,580)	仕掛品の予定配賦額	(76,800)
修繕部門費配賦額	(13,920)		
総差異	(300)		
	(76,800)		(76,800)

組立部門		(単位：円)	
実際部門費	(96,320)	仕掛品の予定配賦額	(99,750)
修繕部門費配賦額	(6,160)	総差異	(2,730)
	(102,480)		(102,480)

修繕部門		(単位：円)	
実際部門費	(19,280)	切削部門への配賦	(13,920)
総差異	(800)	組立部門への配賦	(6,160)
	(20,080)		(20,080)

切削部門	
変動費予算差異	(800 円) (貸方)
固定費予算差異	(1,500 円) (貸方)
操業度差異	(2,000 円) (借方)
組立部門	
変動費予算差異	(500 円) (借方)
固定費予算差異	(1,180 円) (借方)
操業度差異	(1,050 円) (借方)
修繕部門	
変動費予算差異	(500 円) (借方)
固定費予算差異	(1,300 円) (貸方)
操業度差異	(— 円) ()

() 内には借方、貸方どちらかを記入すること。